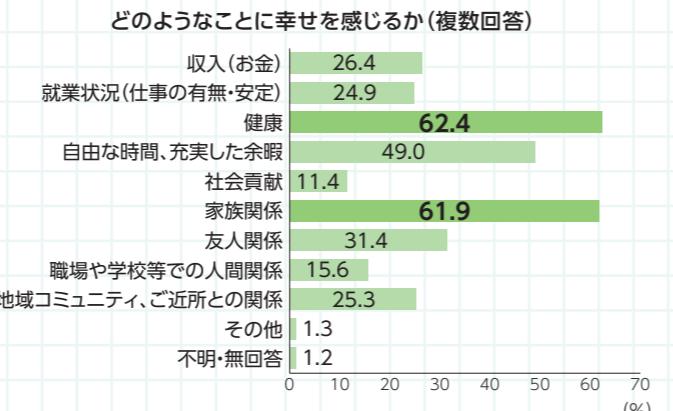
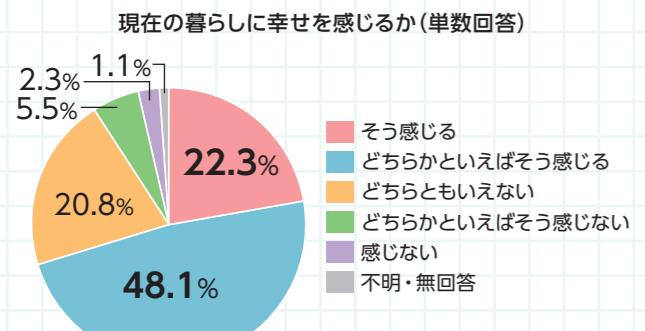


POINT 2

現在の暮らしに“幸せ”を感じている人は7割超え!

「現在の暮らしに幸せを感じますか」という問いに、「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」を合わせた『感じる』は70.4%となっています。

また、どんなことに幸せを感じるかについては、「健康」「家族関係」の占める割合が他の項目と比べ大きくなっています。



POINT 3

意外と知られていない?「やさしい日本語」

「やさしい日本語」とは

簡単な表現や言葉を使い、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

普通の日本語	やさしい日本語
土足厳禁	靴を脱いでください。
地震です。高台に避難してください。	地震です。高い所へ逃げてください。

話すとき：ゆっくり、はっきり、最後まで話すなどの工夫をします。

書くとき：文を短くする、漢字にふりがなを振るなどの工夫をします。

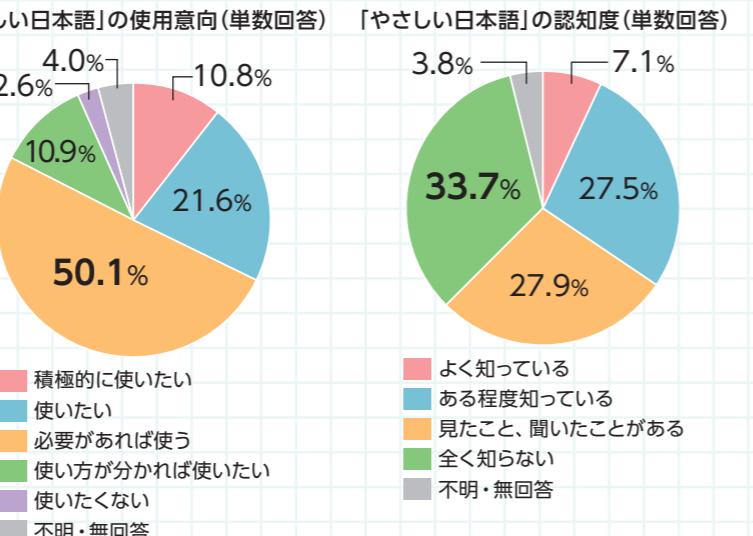
「やさしい日本語」については、「必要があれば使う」という人が最も多い一方で、「全く知らない」と答えた人が33.7%おられ、まずは知っていただくことが課題になっています。

また、特別な場面で使用するという印象があるようで、身近に感じにくい点も課題の一つと言えます。

市では、より多くの方に親しんでもらえるよう認知度の向上を図るとともに、日常の場面でも自然に使われるよう、身近な活用のイメージが広がる取り組みも進めています。

※小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、百分比の合計値が100.0%にならない場合があります。

問 秘書広報課 広報広聴係 ☎ 69-2101 Fax 63-4619



市民の皆様からいただいた ご意見や評価を公表!

～市政に関する意識調査の結果について～

市では、今後の市政運営の基礎資料として活用するため、「市政についての意識調査」を毎年実施しています。

今回は、3,000人の方にお願いし、1,213人(回答率40.4%)の方からご回答をいただきました。

ご協力をいただきました皆様、お忙しい中ご回答いただきありがとうございました。

今回の調査結果について、その一部をお知らせします。

なお、全ての結果をまとめた調査報告書につきましては、市ホームページ、または秘書広報課、地域市民センターおよび図書館で閲覧いただけます。

調査対象 市内在住の個人3,000人 18歳以上

調査期間 令和7年7月27日～8月19日

調査方法 郵送配布・郵送回収またはインターネット回答

調査項目

- 市民意識(住みやすさ、暮らしの満足度および重要度、市への愛着度、市の魅力度、定住意向、市政への関心度)
- 自治振興交付金(敬老事業のあり方について)
- 組回覧(回覧板)(活用状況、入手方法)
- 外国人市民との共生(やさしい日本語、人権問題、外国人が増えることについて)
- 人権について(まちの印象、取組の参加状況、「人権が尊重されるまち」の実現に向けて)
- 市の情報発信(情報入手状況)
- スポーツ(運動の頻度、スポーツボランティア活動について)

POINT 1

暮らしに関わる重要度と満足度

「生活に関わる分野」については満足!「公共交通」は課題!

市で設けた21分野を、重要度と満足度について5段階で評価し、平均値を出してグラフ化したものが右の図になります。横軸は重要度を示し、縦軸は満足度を示しています。図の右上のエリアは、重要かつ満足度が高い項目、右下のエリアは重要だが満足度が低い項目が分布しています。

このことから、生活に関わる「住まい・ライフル」「環境・資源・エネルギー」「安全・防災」などには、おおむね満足いただいている様子が分かりました。

一方で、特に「交通」が示す、公共交通には改善を望む声が多く見られます。

今後も、交通事業者をはじめ関係機関と連携し、市内公共交通の利便性向上に取り組んでまいります。

